



平成 22 年 3 月 18 日

各 位

会 社 名 イオンクレジットサービス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 神谷 和秀
 (コード番号 8570 東証第一部)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 山田 義隆
 (電話 03-5281-2027)
 当社の親会社 イオン株式会社
 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
 (コード番号 8267 東証第一部)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 9 月 29 日の第 2 四半期決算発表時に公表した平成 22 年 2 月期(平成 21 年 2 月 21 日～平成 22 年 2 月 20 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正(平成 21 年 2 月 21 日～平成 22 年 2 月 20 日)

(連結)

(金額の単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	176,100	22,000	21,500	600	3円83銭
今回修正予想(B)	172,400	20,500	20,350	170	1円8銭
増減額(B-A)	3,700	1,500	1,150	430	-
増減率(%)	2.1	6.8	5.3	71.7	-
前期連結実績(平成 21 年 2 月期)	176,007	26,611	26,805	14,788	94円29銭

(個別)

(金額の単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	117,500	9,600	11,400	2,900	18円49銭
今回修正予想(B)	117,350	9,135	10,925	2,620	16円70銭
増減額(B-A)	150	465	475	280	-
増減率(%)	0.1	4.8	4.2	9.7	-
前期個別実績(平成 21 年 2 月期)	117,216	14,080	16,289	12,192	77円74銭

2. 業績予想の修正理由

- ・当期は、国内事業において、事業構造の転換が順調に進捗したことにより、第 3 四半期以降、営業収益は前年を上回る推移となり、通期でも前年を上回る見込みであります。一方、海外事業におきましては、第 4 四半期に入り、カードショッピング取扱高が急速に回復したものの、円高の影響や途上と信の強化による融資関連収益の回復の遅れ等により、連結営業収益は前回発表予想を 3,700 百万円下回る見通しとなりました。
- ・また、国内外において、販管費の削減に徹底して取り組みましたが、総量規制の導入に備えた貸倒引当基準の厳格化による関連費用の増加や、事業構造の転換をさらに加速させるための新規事業への投資を継続して強化した結果、連結当期純利益が前回発表予想を 430 百万円下回る見通しとなりました。これにより、通期の業績予想を修正するものであります。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上